

◆【全国発信記事】愛媛支部

●「おれんじ えひめ」「おれんじ おおさか」●

—四国開発フェリー株式会社—

快適な船旅「動くホテル」

愛媛県と大阪の海上物流を担う四国開発フェリー株式会社所属の「おれんじ えひめ」と「おれんじ おおさか」。

両船は、愛媛県西条市の東予港～大阪南港を8時間で結び、ここに働く組合員が、乗船客と貨物の安全輸送に従事している。

両船は「動くホテル」をテーマに今治造船で建造され、全室が完全個室で、シングルとツインタイプがある。

さらにペットと一緒に利用できるウィズペットルームやバリアフリールームも完備し、利用しやすい設備となっているほか、展望風呂やシャワールーム、フリーWi-Fiが利用できるなど、動くホテルとして快適な船旅を堪能できる。

また、自転車を部屋に持ち込める「マイバイクステイサービス」も実施しており、サイクリストの聖地「瀬戸内しまなみ海道」を訪ねる旅に快適なサービスを提供している。

お客様の安全を確保・新型コロナウイルス感染症対策

両船では現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、さまざまな感染症対策が行われている。マスク着用とソーシャルディスタンスのほか、乗船前は体温計測対応カメラによる検温、手指のアルコール消毒、手洗いの励行をはじめ、船内は抗菌コーティングを施し、船内の換気、通路の手すり・ドアノブ・レストラン・トイレなど入念に消毒作業を行っている。

レストランでは、全体の換気、除菌、殺菌作業の徹底はもちろんのこと、ソーシャルディスタンスを取り、席にアクリルパーティションやビニールカーテンを使用し飛沫感染の防止を行っている。また、注文した食事を完全個室の部屋で食べられるテイクアウトメニューも用意している。

愛媛県は名産品の「みかん」だけでなく、日本三古湯の一つ、道後温泉をはじめ、鯛の養殖で有名な宇和島の名物「鯛めし」、塩パン発祥の地「八幡浜」など、観光名勝や名物が多く、船を利用して大阪から訪れる人も多い。

乗船客の安全と安心を確保するため「おれんじ えひめ」と「おれんじ おおさか」の乗組員は一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全運航に努めている。

「海員だより」